

潮流

昨年十一月二十九日、文部科学省主催の青少年健全育成中央フォーラム「インターネット時代における青少年の健全育成」が、前橋市民文化会館で開催されました。全国から約六百人の参加者があり、ネット被害への関心の高さがうかがえました。



長 理事 副会長 長
鳥取県中部医師会 理事 副会長
NPO法人未来副会長
鳥取県中部医師会

松田 隆

愛情メディア

コーディネーターをされた群馬大学社会情報学部下田博次教授から、鳥取県の現状と対策が報告されました。鳥取県では平成十七年度に教育委員会からの意見を求められ、パネリストとして参加する機会を得ました。フォーラムでは、韓国インターネット、メディア・コミュニケーション

推進員による出前講座が開催され、学校関係者や保護者に限らず、小中学生にも「コミュニケーションが「人間メディア」ではないかと思えます。小児科医としては、乳幼児期からの親子のかかわりから始まる愛情メディアがテレビやケータイ・インターネットなどの機械的な電子メディアに取って代わらないように上手に付き合っていく必要があります。

安全委員会KISCOMのダイア教育・コミュニケーションGMMKのユアマン先生、ぐんま子どもセーフネット活動委員会の委員長や群馬大学社会情報学部の学生さんとの討論に参加しました。

安全委員会KISCOMのダイア教育・コミュニケーションGMMKのユアマン先生、ぐんま子どもセーフネット活動委員会の委員長や群馬大学社会情報学部の学生さんとの討論に参加しました。

「偽」の年から脱皮して、今年「真」の年になりたいものだと思います。すべからず、真に安心して付き合える人間関係をつくっていく必要があります。今の子どもたちに接している「やったるわい」という気概、意気込みがなくなってきたと感じているのは私だけでしょうか？ 大人が起している「偽」の問題を子どもたちは真摯（しんしん）に受け止めています。子どもたちに見える前に、まずはわれわれ大人が事なかれ主義の「偽」を「七転び八起き」で乗り越えて「真」を目指したいものです。

（倉吉市）

（倉吉市）